

- 問1 運慶が快慶らと協力して制作した、奈良の東大寺南大門に安置されている有名な彫刻作品を何という？
- 問2 鴨長明が著した『方丈記』のように、作者自身の見聞や感想などを自由な形式で書いた文章のジャンルを何という？
- 問3 鎌倉時代の力強い武士の気風を反映し、東大寺南大門に安置されている、運慶らによって作られた有名な彫刻を何という？
- 問4 鎌倉時代に書かれた文学作品『方丈記』の著者は誰？
- 問5 鎌倉時代に宋から帰国し、臨済宗を日本に伝えた僧は誰？
- 問6 鎌倉時代の武士の間で行われていた、子どもたちに領地を分け与える相続方法を何という？
- 問7 鎌倉時代に、承久の乱で朝廷側と戦い、勝利を収めた一族を何という？
- 問8 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけで、イスラム勢力から聖地エルサレムを奪還するために組織された遠征軍を何という？
- 問9 鴨長明が乱世における世の無常を記した、日本三大随筆の一つとされる作品を何という？
- 問10 1221年に、朝廷の権力を取り戻すために鎌倉幕府を倒そうと挙兵した人物は誰？
- 問11 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？
- 問12 モンゴル帝国が建国されたのは、日本ではどの時代にあたる？
- 問13 鎌倉文化に見られる、武士の気風を反映した特徴を表現する言葉として「何々さ」とよく言われるものは？
- 問14 琵琶法師により、当時の人々に語り伝えられた鎌倉時代の軍記物語を何という？
- 問15 1232年に日本最初の武家法を制定した、鎌倉幕府の三代執権は誰？
- 問16 鎌倉幕府の中央に置かれた主要な機関で、政所や侍所と並び、裁判などを担当した組織を何という？
- 問17 鎌倉幕府において、御家人の統制や軍事・警察を担う「侍所」を設置した初代将軍は誰？
- 問18 モンゴル帝国による日本侵攻の際に、火薬を用いた兵器が使用されたのはいつ頃？
- 問19 鎌倉時代、執権の北条泰時が制定した法律を何という？
- 問20 鎌倉幕府を倒し、1334年から天皇中心の政治を復活させようとした天皇は誰？
- 問21 鎌倉時代に臨済宗を日本に伝えた僧侶は誰？
- 問22 モンゴル帝国が中央アジアを征服し、世界規模で勢力を広げたのは何世紀？

答え合わせ・解説

問1	答え 金剛力士像	東大寺南大門に配置された金剛力士像は、運慶と快慶らの工房が分担して短期間で完成させました。筋肉の盛り上がりや血管の浮き出た表現、衣のひだの動きなど、極めて写実的で生命感あふれる特徴を持っています。
問2	答え 随筆	随筆は、特定の形式にとらわれず、著者が感じたことを素直に綴る形式です。鴨長明の『方丈記』は、社会の無常を独自の視点で捉えた傑作として、中世文学の代表とされています。
問3	答え 金剛力士像	東大寺南大門に安置されている金剛力士像は、運慶や快慶らによって作られました。筋肉の隆起や力強い表情など、非常に写実的かつダイナミックな表現が特徴であり、当時の力強い武士の精神性が彫刻にも表れています。
問4	答え 鴨長明	鴨長明は、貴族社会から離れて隠遁生活を送った人物です。京都郊外の日野山に小さな草庵を結び、そこで体験した世の中の厳しい出来事や仏教的な無常観を書き残しました。これが文学作品として高い評価を受けている『方丈記』です。
問5	答え 栄西	鎌倉時代は、激動の世の中で武士を中心に新しい仏教が求められていた時代です。宋に渡り修行した栄西は、帰国後に禅宗の一つである臨済宗を伝えました。彼はまた、宋から茶の種を持ち帰ったことでも知られ、日本における喫茶の習慣を広めるきっかけを作った人物としても有名です。その後、禅の教えは武士の気風と合致し、鎌倉を中心に広く浸透していきました。
問6	答え 分割相続	当時の武士社会では、家督を継ぐ長男だけでなく、他の兄弟にも領地を分ける分割相続が一般的でした。これにより、相続のたびに個々の武士が持つ土地が細分化され、一つの家が持つ経済力が低下していきました。
問7	答え 北条氏	承久の乱が起こると、執権・北条義時のもとで幕府軍は京都へ進撃しました。北条政子の演説で御家人を鼓舞し、勝利を収めたことで、全国的な支配体制が確固たるものになりました。
問8	答え 十字軍	1095年、ローマ教皇ウルバヌス2世の呼びかけにより、聖地を奪還するための軍勢が組織されました。遠征は複数回にわたって行われ、盾に十字の印をつけたことから「十字軍」と呼ばれます。
問9	答え 方丈記	『方丈記』は、こうした激動の時代を生きた鴨長明による随筆です。作者自身が世俗を離れて山の中に住まい、人々の苦しみや災害の恐ろしさ、そしてこの世がいかに儚いものであるかを鋭い洞察で綴っています。「ゆく河の流れは絶えずして」という有名な冒頭文は、鎌倉時代の文学を象徴する無常観を端的に表しています。
問10	答え 後鳥羽上皇	後鳥羽上皇は、北条義時討討の院宣を出し、倒幕を試みました。しかし、北条政子の演説により結束を強めた幕府軍の反撃にあい、上皇側は敗北しました。
問11	答え 鎌倉文化	鎌倉文化は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。彫刻では写実的で力強い表現が、文学では『平家物語』のような軍記物語が人々に親しまれました。また、禅宗の影響を受けて、簡素で力強い美意識が確立されたのも大きな特徴です。
問12	答え 鎌倉時代	チンギス・ハンはモンゴル帝国を建国し、強力な騎馬軍団を率いて次々と周辺地域を征服しました。この動きは、後の鎌倉幕府がモンゴルの襲来（元寇）を受けるという歴史的な接点へとつながっていきます。
問13	答え 力強さ	「力強さ」とは、鎌倉文化を象徴するキーワードです。武士の生活や気風を反映し、華やかな貴族文化とは対照的に、写実的で現実味のある表現が好まれました。
問14	答え 平家物語	『平家物語』は、平氏の滅亡までの過程を力強く描き出した文学作品です。この物語は書物として読まれるだけでなく、琵琶法師と呼ばれる人々が全国を巡り、琵琶を奏でながら口頭で語り伝えることで広く庶民から武士まで浸透しました。その語りは「平曲」とも呼ばれ、独特の節回りで当時の人々の心を打ちました。
問15	答え 北条泰時	北条泰時は、連署の北条時房と共に「御成敗式目」を制定しました。これは武士社会の実態に合わせた最初の法律で、全51条からなり、土地争いの解決などを重視していました。泰時は、自らの家系が権力を持つ中であっても、法に従って公平な判決を下すことを重視し、執権政治を安定させました。
問16	答え 問注所	問注所は、鎌倉幕府の中央機関の一つで、主に御家人の訴訟や裁判、書類の管理を担当しました。侍所が軍事・警察を、政所が一般政務を担当したのに対し、問注所は法律に基づく冷静な判断を行う機関として、幕府の権威を高める役割を果たしました。
問17	答え 源頼朝	1185年に鎌倉幕府の主要な機関として「侍所」を設置しました。侍所は御家人の統制や軍事・警察を担当する組織で、初代の長官（別当）には和田義盛が任命されました。これにより、全国の御家人が将軍の指揮下に入る体制が整いました。
問18	答え 十三世紀後半	十三世紀後半の二度にわたる元寇において、元軍は日本軍とは異なる戦法をとりました。特に、当時の日本では馴染みのなかった火薬兵器を使用し、武士たちを大いに苦しめました。
問19	答え 1232	この法律は、それまでの習慣を基礎とし、武士社会の道理に基づいて裁判を行うための基準を明確にしたものです。これにより、幕府による全国的な裁判の公平性が保たれるようになりました。
問20	答え 後醍醐天皇	後醍醐天皇は足利尊氏や新田義貞ら有力武士の協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。その後、1334年に天皇による直接統治を目指す「建武の新政」を開始しました。
問21	答え 栄西	栄西は二度中国へ渡り、そこで修行して帰国後に臨済宗を伝えました。彼は座禅によって悟りを開くことを説き、武士たちの間に広く支持されました。また、宋からお茶の種を持ち帰ったことでも有名です。
問22	答え 13世紀	1206年のモンゴル帝国建国から、13世紀を通じてモンゴル軍は東西に遠征を行いました。この時代は日本という鎌倉時代の中期にあたり、幕府にとっては東アジアの情勢が大きく変化した激動の時期でした。